



「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Aim your hopes towards the stars in your early days



東海大学附属推薦制度 特別奨励入学・特別技能推薦・ 特別学力推薦・付属推薦による 320名の推薦候補者決定



「特別奨励入学制度」で推薦候補に選ばれた51名の皆さん

2014年6月6日(金)に2015年度東海大学推薦入学候補者の発表があり、特別奨励入学候補者として本校から51名の生徒が発表になりました。特別奨励入学候補者は、高校3年生実施の学園基礎学力総合試験の学園順位が350番以内であり、校内での高校1、2年生における学業成績も優秀である生徒が選ばれます。普段からしっかり学習に取り組み、厳しい学園基礎学力試験の基準を突破した生徒がこの候補者となります。

特別奨励入学候補者に対しては、9月下旬から開始される大学の後期授業科目に、科目等履修生として参加し、大学の単位を取得

できる「体験留学」という制度もあります。この制度を利用して、高校在学中に進学予定学部・学科の授業を体験し、単位を取得することが可能になり、自分の夢を実現する力を早期に養うことができます。さらに、11月25日の付属推薦合格発表が行われますと、正式に特別奨励入学者に決定して25万円分の学業奨学金が付与されます。

高校1、2年生の皆さんもぜひ、特別奨励入学を目指して頑張ってください。

それでは、以下に第1回の特別奨励候補者となりました51名を紹介いたします。

特別奨励入学候補者氏名(五十音順)

相澤 直人	秋元 雄天	朱易 維禎	池田 有希	伊東 慎一郎	稲本 宏太
猪谷 駿	上杉 昂矢	内海 一輝	榎本 貴氏	生沼 みなみ	大島 瑠姫
小川 沙麗	荻澤 翔子	加藤 彩乃	木庭 怜香	桑田 寛規	後藤 優一
後藤 莉奈	酒井 香利	佐藤 史弥	山藤 寿三礼	島谷 克樹	島田 拓実
島田 智大	清水 紀穂	志村 優司	白井 明日香	末野 玲雄	菅原 楓
鈴木 捷之	鈴木 結里	高沼 真衣	土屋 諒太郎	中村 奎斗	中山 真由美
早川 妃菜子	藤田 健寛	古澤 純	増田 憲	松井 航平	松倉 朋哉
松本 翔太	牟禮 果菜子	望月 亮吾	柳澤 優吏	山田 あすか	山中 正樹
山水 夏帆	若林 葵	和久井 俊			

2015年度 東海大学付属推薦制度 特別奨励・特別技能・特別学力・付属推薦による 320名の推薦候補者決定

2014年6月6日(金)に2015年度東海大学付属推薦制度による推薦候補者の発表がありました。表紙のページで紹介しましたように特別奨励候補者として決定した51名以外にも、特別技能推薦で5名、特別学力推薦で212名、付属推薦で52名の合計320名の生徒が推薦候補者として発表されました。

推薦候補者となった生徒は、この後7月5日(土)または6日(日)を中心に実施される推薦候補者説明会に参加するとともに、大学からの2回の個別指導課題、インターネット環境を利用したe-learningなどをすべてやり遂げていくことで、大学への入学準備が万全となります。この後、11月25日の合格発表までしっかりと学習を継続してください。

なお、医学部・看護系学科・芸術系学科・航空操縦学科を希望する生徒については、今後行われる適性審査を経て推薦候補者が決定しますので、今回は第二・第三希望の学科推薦候補者として発表します。適性審査の結果は、飛躍10月号でお知らせします。

特別奨励入学推薦候補者

進学予定先	学科別人数(名)
情報通信学部情報メディア学科	1
文学部文芸創作学科	1
文学部英語文化コミュニケーション学科	3
文学部広報メディア学科	1
観光学部観光学科	3
教養学部人間環境学科自然環境課程	1
教養学部国際学科	3
理学部情報数理学科	1
理学部数学科	4
理学部物理学科	1
工学部生命化学科	1
工学部応用化学科	1

進学予定先	学科別人数(名)
工学部電気電子工学科	1
工学部建築学科	3
工学部精密工学科	1
工学部動力機械工学科	1
工学部航空宇宙学科航空宇宙学専攻	2
工学部医用生体工学科	6
体育学部体育学科	1
体育学部生涯スポーツ学科	3
体育学部スポーツ・レジャーマネジメント学科	5
健康科学部社会福祉学科	2
海洋学部海洋生物学科	2
海洋学部水産学科生物生産学専攻	1
ハワイ東海インターナショナルカレッジ	2

特別技能推薦候補者

進学予定先	学科別人数(名)
国際文化学部地域創造学科	1
体育学部競技スポーツ学科	3
体育学部生涯スポーツ学科	1

特別学力推薦候補者

進学予定先	学科別人数(名)
情報通信学部情報メディア学科	6
情報通信学部組込みソフトウェア工学科	2
情報通信学部通信ネットワーク工学科	1
情報通信学部経営システム工学科	3
文学部ヨーロッパ文明学科	1
文学部北欧学科	1
文学部歴史学科西洋史専攻	1
文学部歴史学科考古学専攻	1
文学部日本文学科	2
文学部英語文化コミュニケーション学科	2
文学部広報メディア学科	13
文学部心理・社会学科	7
観光学部観光学科	28
政治経済学部政治学科	1
政治経済学部経済学科	3

進学予定先	学科別人数(名)
政治経済学部経営学科	11
法学部法律学科	3
教養学部人間環境学科自然環境課程	6
教養学部人間環境学科社会環境課程	5
教養学部国際学科	19
理学部情報数理学科	2
理学部数学科	7
情報理工学部情報科学科	2
情報理工学部コンピュータ応用工学科	1
工学部生命化学科	11
工学部応用化学科	3
工学部原子力工学科	1
工学部電気電子工学科	1
工学部材料科学科	4
工学部建築学科	10

特別学力推薦候補者

進学予定先	学科別人数(名)
工学部土木工学科	1
工学部精密工学科	1
工学部機械工学科	1
工学部動力機械工学科	4
工学部航空宇宙学科航空宇宙学専攻	3
工学部医用生体工学科	2
体育学部体育学科	4
体育学部競技スポーツ学科	3

進学予定先	学科別人数(名)
体育学部生涯スポーツ学科	7
健康科学部社会福祉学科	6
海洋学部海洋生物学科	3
海洋学部水産学科生物生産学専攻	4
基盤工学部医療福祉工学科	1
短期大学部児童教育学科	4
短期大学部食物栄養学科	1
ハワイ東海インターナショナルカレッジ	9

付属推薦候補者

進学予定先	学科別人数(名)
国際文化学部地域創造学科	2
情報通信学部組込みソフトウェア工学科	1
情報通信学部通信ネットワーク工学科	1
情報通信学部経営システム工学科	1
文学部アメリカ文明学科	1
文学部ヨーロッパ文明学科	1
文学部文芸創作学科	2
文学部歴史学科西洋史専攻	1
文学部歴史学科日本史専攻	1
政治経済学部政治学科	3
政治経済学部経済学科	5
政治経済学部経営学科	1

進学予定先	学科別人数(名)
法学部法律学科	4
教養学部人間環境学科社会環境課程	4
情報理工学部コンピュータ応用工学科	1
工学部光・画像工学科	1
工学部建築学科	2
工学部土木工学科	1
工学部機械工学科	1
海洋学部海洋生物学科	2
海洋学部海洋文明学科	3
農学部応用動物科学科	3
短期大学部児童教育学科	3
短期大学部食物栄養学科	2
ハワイ東海インターナショナルカレッジ	5

学園オリンピック1次合格者発表

2014年度東海大学学園オリンピック文化部門1次審査(音楽部門を除く)に、学園の中等部・高等学校から延べ1,535名の応募がありました。高輪台高等学校・中部からは各部門に延べ58名が応募しました。

1次審査の結果が発表され、12名の生徒諸君が見事に2次審査に進むことになりました。1次審査の合格者は、7月31日(木)～8月5日(火)に群馬県にある東海大学嬬恋高原研修センターで行われる夏季セミナーに参加し、部門ごとに東海大学の先生方の指導のもとで、創作活動やフィールドワーク等のアクティビティに励み、その成果によって各部門の優秀賞が選ばれます。



国語部門

齊藤 藍香 (1年2組) 木村 天音 (3年B組)
浅川 海 (2年4組) 海老優之介 (3年3組)

数学部門

佐藤 史弥 (3年6組)

理科部門

尾上 愛 (3年A組)
芦野 光祐 (3年9組)

英語部門

鮫島 正平 (2年3組)

芸術(造形)部門

嶋田 楽人 (2年B組)
大島 佑 (2年3組)
村山 正 (2年8組)

知的財産部門

庄司 輝 (3年9組)

嬬恋の夏季セミナーでの健闘を祈ります!

学年だより 中 1

校外活動 ～江戸東京博物館～

1年生は5月24日(土)に両国にある「江戸東京博物館」で学習をしてきました。また、その周辺にある「旧安田庭園」、「北斎通り」、「横網町公園」やその中にある「復興記念館」を訪れ、多くのことを学んできました。

学んだこと

A組 原 光希

僕は江戸東京博物館に行って、東京の歴史について多くのことを学ぶことができました。特に印象に残っているのは、さまざまな人々の生活の変化と関東大震災の事です。

江戸時代の人々は、電気を使っていなくて、今からは考えられない生活をしていました。僕はそれに驚き、今の日本の進歩はすごいなと思いました。その他に、東京大空襲の時に焼けて溶けてしまった鉄柱がありました。粘土のようにグニャグニャになっていて、戦争の力はすさまじいなと思いました。

横網町公園内の復興記念館では、関東大震災を通して「震災」の怖さを知りました。震災が起きると多くの命が奪われてしまいます。それを防ぐためにも、過去に起きた大きな震災を後世の時代に伝えていくことが必要だと思いました。ここで学んだことを踏まえて、震災の備えをしっかりしようと思いました。

想い

B組 浅田 菜月

江戸東京博物館で多くの江戸時代の作品を見ました。作品はどれも丁寧に作られていて、とてもきらびやかなものばかりでした。しかしそんな中で、質素で心を落ち着かせてくれるものもいくつかありました。私が一番感心したのは、戦時中の庶民の住宅模型です。戦時中の人々は、住宅にいろいろな工夫もしていました。例えば、窓ガラスにはテープが張ってありました。それは、爆弾が投下された時にガラスの散乱を防ぐためです。

復興記念館は、関東大震災や東京大空襲当時の様子などを撮った写真が展示してありました。それを見るのはとてもつらく、足取りが重くなっていきました。見るのが一番つらかったのは、空襲が起きた時間で止まった時計と、被害にあった子供たちの絵です。

この活動を通して、私は昔の人たちの工夫や思いをずっと伝え続けていきたいと思いました。



緑豊かな旧安田庭園



歌舞伎の鳴り物を体験中

学年だより 中2

中等部 スポーツ大会 校外活動 ～日本科学未来館訪問～

前期中間試験が終了した翌日5月23日(金)、アリーナにて中等部のスポーツ大会が実施されました。ドッジボール、バスケットボール、綱引きの三種目を行い、クラス一丸となって取り組みました。

さらに5月24日(土)、中等部第2学年は今年度初めての校外活動として、日本科学未来館を訪問しました。未来館では、最先端の科学技術を目に焼き付けるとともに、各自が興味を抱いた展示内容を新聞にしました。

今回はこの2つの行事の様子をご報告いたします。

初団結

A組 中山 裕也

中等部全学年でスポーツ大会をやりました。中等部2年生になって、最初の大きな行事でした。

僕が一番印象に残っているのは、最後の応援です。2年A組で初めて団結できた気がしました。前半の種目の結果が良くなかったのですが、皆で大声を出してクラスを応援して、時には1年生を応援したりしました。

皆が一生懸命応援をして、最後の綱引きで頑張ったので、優勝することができました。この調子で、体育祭などいろいろな学校行事を、精一杯やっていきたいです。

未来館

B組 森川 康熙

2学年は、校外活動で日本科学未来館に行きました。活動内容は、展示物を見て回り、自分が興味を持ったものをメモし、それを新聞にまとめるというものでした。

そこで私は、「ユノハナガニ」というカニについてまとめることにしました。そのカニは深海に住んでいるため目が退化しており、体が「湯の花」のようなピンク色をしているところから名づけられました。水槽には三匹のユノハナガニがおり、興味を持って観察することができました。

その他にも、潜水艦の模型の中に入ることができるなど、まだまだ回りたいところが多くありました。また行ってみたいと思います。

A組



競技も応援も
精一杯頑張りました

B組



興味深く観察しています

学年だより 中3

～前期中間試験を終えて～

5月21日(水)、22日(木)の両日、今年度初めての定期試験が行われました。

おそらく、すべての教科の結果がお手元に届いていると思います。結果はいかがでしたか。

中間試験後23日(金)には、スポーツ大会を行いました。勝利を意識して、最上級生らしく各クラス白熱した戦いがくり広げられました。

スポーツ大会

A組 飯塚 愛也

僕たちは、スポーツ大会で3つの競技を行いました。

1つ目はドッジボールです。ドッジボールはあまり得意ではないため、あまりボールにふれないようにしましたが当たってしまい、悔しい思いをしました。

2つ目はバスケットボールです。バスケは小学校の頃ミニバスをやっていたので、ある程度はできました。僕は基本DFで、ボールを取ったら前にロングボールを投げて味方チームにパスをしていました。結果的に6点を決めてくれたのでよかったです。久しぶりにたくさん走って気持ちが良かったです。

3つ目は綱引きです。最初に女子がやってA組が勝ちました。その後、男子戦はB組が勝ちました。思った以上にあっさりやられて悔しかったので、混合は全力でやりました。今までのスポーツ大会で一番良い綱引きでした。とても楽しかったです。

スポーツ大会について

B組 田谷 紬希菜

私は、3年生になってスポーツ大会がとても楽しみでした。しかし、結果的には負けてしまいました。私が、スポーツ大会で一番楽しかった競技は、ドッジボールです。最初は、負けてしまっていたけれど、どんどん、巻き返していくことができよかったです。

バスケットではあまり得意でないということもあって、自分の力が発揮できませんでした。自分たちらしい試合をすることができ、結果的に勝ててうれしかったです。

綱引きでは、女子と全員で負けてしまい、すごく悔しかったです。

しかし、とにかくみんなで一生懸命応援したら応援賞をとることができました。力を入れて応援したのでごうれしかったです。体育祭は、この悔しい経験を生かして、クラスの団結を強くして、正々堂々と戦い、絶対勝ちたいです。

スポーツ大会の様子

A組



終了後、全員で

B組



綱引きの前に円陣!

～キャリア教育～

スポーツ大会が行われた午後に積水化学工業株式会社から講師をお招きし、職業指導をしていただきました。内容は積水化学が開発・提供してきた「接着剤」を実験を通じて理解するというものでした。やや高度な内容に、生徒たちは真剣な面持ちで取り組んでいました。



A組



B組

学年だより 高1

東海大学湘南校舎見学

5月9日(金)に、1年生は校外活動で、東海大学湘南校舎を訪れました。1年生として初めての大きな行事でしたが、天候にも恵まれ、楽しい1日を過ごすことができました。今回は、入学して間もない1年生の湘南校舎の新鮮な感想を紹介します。

湘南校舎へ行って

8組 澤味 真梨奈

先日の校外活動では、東海大学について、また湘南校舎について理解できた以外に、班行動を通して、クラスメートと交流ができて、とても充実した1日になりました。

4月に東海大学付属高輪台高等学校に入学したばかりで、東海大学について漫然としたイメージしかありませんでした。しかし、今回の校外活動を通して、大学について多くのことを学び、少しでも大学というものが精神的に近くなった気がします。大学に関して説明されたことでいちばん印象的だったことは、「自分で自分の時間割を作る」ということでした。今は時間割が決められていますが、大学では自分で受講する授業を決めて、自分で時間割を作り、卒業単位数を取るということです。自分で時間割を決められるという点では、自分の自由な時間を見つけられると思いました。しかし、自由が増えるということは、自己責任も増えるということです。卒業までに決められた単位がとれるように予定を立てる計画性も必要だと思いました。それだけに、高校3年間でそういう能力を少しずつ養いたいと思いました。

また、湘南校舎はとても広く、緑が多く、のびのびと大学生活が送れる場所という印象も強く残りました。

まだ1年生ですが、今から大学についてしっかり考えて、それに向かって勉強して、これからの高校生活と、それに続く大学生活を充実させたいと気持ちを新たにしました。

大学を見学して

8組 小林 大介

今回の校外活動を通して、東海大学ということが少しわかったような気がしました。少しだけわかったというのは、大学が広すぎて、教室が多くあって、とても1日ではすべてを理解することができなかつたからです。これからもっと詳しく調べていかなければいけないと痛感しました。

大学見学をして、私はいくつか学んだことがあります。ひとつは、学生一人ひとりに広々とした空間があることと、充実した設備が整っているということです。このような環境があることで、自分が学びたいと思ったことを何でも熱心に追いつめることができるだろうと思いました。

ふたつめは、自由な時間が多いということです。長期休暇は大別して2つ、夏休みと春休みです。私が特に驚いたことは、夏休みより春休みのほうが長いということです。前者は約2か月、後者は約2か月半ということです。この期間は勉強だけでなく海外への留学や、部活動に専念するためのようで、自分の好きなことを究めるには最適だと思いました。

私は体育学部進学を希望しています。体育学部の詳細を把握しているわけではありませんが、やるべきことはわかっているつもりです。やるべきことをやって、自分の目標や夢に一步でも近づけたらと思っています。これからも夢実現のために行動していきたいです。



全体説明を受けて



食事中



何を食べようかな



構内散策中



大学生に質問



大学を
離れる前に

学年だより 高2

5月9日(金)にアリーナで行われたスポーツ大会の結果をお伝えします。
今回は接戦の末、なんと優勝が2クラスになりました。

優勝 3組

3組 横川 奏汰

新クラスになり、初めてのスポーツ大会。最初は勝てるかなと半信半疑で挑んでいましたが、結果は優勝。3組の団結力は私の想像をはるかに超えていました。思い返してみるといろいろな人がそれぞれの競技で主役となり、3組にはとても一体感があったと思います。こんな最高のクラスで卒業まで過ごせる私は幸せ者です。次のスポーツ大会では「単独優勝」と「連覇」の両方に挑みたいと思っています。2年になって初のスポーツ大会、最高の思い出となりました。

優勝 6組

6組 須田 大翔
6組 安井 美槻

クラスのモチベーションは最高潮でした。各種目とも、参加者全員の顔つきが今までとは違う。そう、誰もが本気でした。応援団も競技者に声援を送り続け、試合をやっている人もやっていない人も、全員が「楽しい」と思えるスポーツ大会であったのではないのでしょうか。時には、悔しくて笑顔が出ない人もいたと思います。しかし、悔しいと思うだけでも素晴らしい。そういった点で今回のスポーツ大会は、どこのクラスも一等賞であったのではないのでしょうか。

3位 1組

1組 小笠原 悠太

2年生になり、クラスで協力して行う行事はこのスポーツ大会が初めてです。大会では3位という結果を残すことができました。最初はまともがなく、良い結果が残せませんでしたが、午後になってから試合があるたびに応援する人が増え、最後の綱引きではクラスが一丸となり2位という結果でした。私は、今回のスポーツ大会で協力する楽しさを学びました。この先、さまざまな行事がありますが、クラスで協力してやっていきたいです。



ブロック！



応援も笑顔で



応援にも気合が入ります



綱を引ナー

学年だより 高3

今号では、5月9日(金)に実施された3学年校外活動(BBQ)について、各クラスの校外活動委員に振り返ってもらいました。

1組 島本 晴美

1組は行きのバスでビンゴやカラオケをしました。野口先生も歌ってくれて盛り上がり、とても楽しかったです。BBQ中ではどの班も美味しそうに食べていました。

2組 皆川 昂哉

バスの中では、カラオケや一発芸大会で盛り上がりました。特に中溝君のモノマネが一番の盛り上がりを見せたのではないのでしょうか。現地ではBBQの後、水風船などでびしょぬれになっている人もみかけました。

3組 河村 奈保 倉木 美歩

朝のバスからみんなすごく楽しそうに盛り上がっていました。BBQが始まってからは、班ごとに協力して美味しいご飯や、班よってのアレンジがあり、シャボン玉をする人もいて、すごく楽しみました。帰りのバスではGReeeeNのキセキの熱唱もありました♪

4組 春名 輝久

片道3時間あるバス移動も気の合う者同士で楽しんでいました。現地は晴れ。少し暑いほど。その中で皆協力し合って料理を作ったり、遊んだり良い思い出になったと思います。帰りのバスは、寝ている人もちらほら。私も寝ていました。

5組 金森 啓斗

すごく楽しかったです。バスでは映画を見て、BBQでは美味しいご飯が食べられて、空気もきれいだったので最高でした。水風船とかを投げて遊んだのが盛り上がりました。

6組 須山 めぐみ

行きのバスは、景品をかけてのビンゴゲームをして盛り上がりました。帰りのバスでは、寝ている人が多かったのですが映画鑑賞をしました。バスガイドさんのお話面白く、和気あいあいとして楽しかったです。

7組 櫻井 朱里

3年生最初の行事となるBBQは、班で協力したり、クラスメートの新たな一面を見られたりと充実した時間でした。各班でそれぞれアイデアを持ち寄り、とても満足度の高いものとなったのでよかったです。

8組 増田 美里 望月 舞子

クラスみんなで楽しむことができました。最後の校外活動だったので、たくさん思い出がつくれてよかったです。帰りのバスでは映画を見たりおしゃべりをしたりと、とにかく楽しい思い出がいっぱいでした。

9組 堀川 翔平

自分たちで料理を作る中で面白いと感じたのは、人の性格をよく表しているところで、班によって野菜の大きさやソースの濃さが異なり、同じ材料でもさまざまな特徴を楽しむことができました。



河口湖町西湖でBBQ



クラスメートの新しい面を発見



シャボン玉などレクリエーションも楽しく♪



うま火がつけば万事よし!



調理も自分たちで

2014年度学校運営方針

5月号で掲載した2014年度の学校運営方針重点目標について、詳しく紹介していきます。

2014年度の重点目標 PART.2

4 完全学校6日制へ取り組み、生徒の学力を保障する

本校は1991年度から継続して学校5日制で授業を実施してきました。今年度はこれを改め完全学校6日制に移行しました。1週あたり授業は34時間となり4時間の授業増です。新学習指導要領(中学校は2012年完全実施、高等学校は2013年度入学生から年次進行で実施)では、学習内容が増加し、発展的内容も各学校の判断で教えることが認められています。本校に限らず、これを従来のままの授業時数で対応すれば、進度を早めた詰め込み的授業の蔓延につながるものが危惧されます。そこで、本校では、学習と勉強の両立という本来の一貫教育のあるべき姿を維持するためにも、いち早く6日制の導入が必要だと判断しました。

5 教員は生徒に必要な学習内容を授業時間内での工夫によって十分理解させ、家庭学習の習慣を身につけさせる

わかりやすい授業を心がけるというのは、教員であれば当然のことです。本校の教員は常にこの点に気を配りながら授業展開を工夫しています。また、授業とリンクして計画的に適切な課題を設定することで、生徒は自律的に学習する習慣が身につきます。工夫した授業と家庭学習の習慣は、よりよい学びのための相乗効果を生み出します。

6 新学習指導要領に対応する特色ある指導方法を研究する

6日制による授業時数増に合わせ、各教科ともシラバスの再検討を重ねてきました。新学習指導要領のもとでも、東海大学の特色である現代文明論を教育の中心に置き、文武両道や文理融合のバランスのとれた教育を目指すことは変わりません。そのうえで、今まで以上の効果的な学びが可能となるように今後も指導方法の工夫改善を重ねていきます。

7 付属推薦早期化に対する取り組み(推薦候補者決定後の入学前学習と事前指導)を充実させる

本校では東海大学進学者が8割以上です。高校3年生のほとんどは6月に推薦入学候補者として進学する学部学科が明確となります。このような一貫教育体制を活かし、高校3年では12月から進路別にクラスを再編成し特別講座として進路に応じた授業を行います。その他にも高校3年では東海大学と連携して大学授業の体験留学や、入学準備のためのe-Learningを実施します。こうした、大学との一貫教育体制を今後も一層充実させていきます。

第10回 ベストティーチャー表彰(2013年度)

中等部タイプA 日塔 瑞乃 先生(国語科)

高校タイプA 笹井 愛佳 先生(保健体育科)・小松原 洋行 先生(英語科)

中高タイプB 高倉 利一郎 先生(英語科)

2013年度のベストティーチャー4名の教員が、第42回後援会総会の場で島田一郎副会長から表彰、賞金を授与されました。ベストティーチャー制度は、ベストティーチャーの授業を参考・モデルとして、全教員が授業改革への意欲を高めることを期待して設けた制度で、後援会のご協力により、2004年度に発足しました。前期2回の生徒による授業評価アンケートのアベレージ上位中等部3名、高校6名の教員の授業を、全教員・保護者に見学していただき、総合評価の最も高かった中等部1名、高校2名がタイプA、中・高で後期中間までの3回の伸び率が最も高かった教員がタイプBとなります。今年度は中等部タイプAに日塔瑞乃先生、高校タイプAに笹井愛佳先生・小松原洋行先生が選ばれました。なお、一度ベストティーチャーに選ばれると3年間はこの対象から外れます。



TOKAI キャンパスメッセージ

知ってください! 地域創造学科

東海大学国際文化学部地域創造学科 服部 正明

地域創造学科は、北海道札幌市郊外に位置する藻岩山を望む緑豊かな環境に恵まれた札幌キャンパスにあります(写真1、2)。札幌キャンパスには、国際文化学部と生物学部の2学部1,500名の学生が在籍していて、そのうち約500名が国際文化学部・地域創造学科の学生になります。現在、付属高輪台高校の卒業生7名が地域創造学科で勉学やクラブ活動などに励んでいます。

地域創造学科では、地域をイキイキと元気にすることを目標にしています。カリキュラムの内容も、健康やスポーツに関する基礎的な知識を習得してもらうことを基本に、それを地域で生かせる実践的な能力を身につけてもらう『健康スポーツ系』の科目と、私たちが住んでいる地域の特色や問題を、行政・文化・環境・産業を通じて分析・考察できる力を身につけ、よりよい地域づくりに貢献できる能力を身につけてもらう『地域づくり系』の科目から構成されています。

学科の特色的な科目として、教室から飛び出し、学外に出て現場で実践する『地域創造フィールドワーク』や『地域創造インターンシップ』があります。これらの科目では地域と連携しながら、四季を通じてスポーツの機会を創る活動(スポーツイベント作り)や、スポーツ競技大会の運営を支える活動(スポーツボランティア)の機会を提供します。その中には、春から夏にかけての地元札幌で開かれるさまざまな市民マラソン大会での給水ボランティア活動、初夏のころに校内に咲くラベンダー畑で開催される『ラベンダーまつり』では、学生が主体となって企画・運営するなどの内容が含まれます(写真3)。また、冬季には、雪のたっぶり積もった雪上で『スノーフェスティバル』を開催し、雪合戦をはじめ、チューブ滑り、雪上パークゴルフ、スノーホッケー体験、ゆきとばしアートなど等の企画・運営を通じて、地域の子どもたちに対して雪を積極的に利用した活動を提供しています(写真4)。雪の季節に札幌で開催される国際的なスキー競技大会やスキージャンプ競技大会で、運営補助役として選手を裏方から手助けする活動も提供しています。

では、地域創造学科でどのような資格が取得できるのか。保健体育と公民の両方か、どちらか一方の教員免許の資格取得が可能です。また、子どもや高齢者などにスポーツを指導できる資質を備えたス

ポーツリーダーの資格と、公認スポーツ指導者の認定科目も取得できます。その他に『学校体育実技』という科目では、柔道の黒帯を取得できるまでの内容が含まれ、昇段試験で黒帯にチャレンジすることもできます。また、大切な命を救うための知識と技能を『救急処置法』で学べば、ファーストエイドのライセンスも取得可能です。

本学科の卒業生は、地元の企業はもちろんですが、さまざまな分野で活躍しています。地域に根差し、人々の生活や安全を守る市町村の役所や警察・消防などの職業や、中学・高校の教員として教育に携わる卒業生も多数います。

自然に恵まれた、北の地にある地域創造学科で地域が明るく・楽しく・イキイキするアイデア創りにチャレンジしてみませんか。



写真1 校舎を望む(夏)



写真2 校舎を望む(秋)



写真3 ラベンダーまつり



写真4 スノーフェスティバル

地域創造学科へ来てください!!

東海大学国際文化学部地域創造学科2年(高輪台高校2013年3月卒業) 谷口 侑揮

私がなぜこの地域創造学科に入学したかという、まず中学、高校の保健体育の教員免許がとれることが選んだ大きな理由の1つでもあります。自分は大学でサッカー部に所属しています。部活動ではインカレ(全国大会)に出場できるよう、

ほぼ毎日練習に励んでいます。北海道での1人暮らしは大変です。すべて自分で行わなくてはならないので、改めて親のありがたみを感じます。地域創造学科は、学生の人数がそれほど多くないので先生にもすぐ名前を覚えてもらえて、授業のことは

もちろん自分の将来やりたいことなどを、身近に相談できる良い関係が築けます。来年には札幌キャンパスの施設が大きく変わります。スポーツをやる人には良い環境だと思います。

お知らせ

第46回 剛健旅行 7月11日(金)~12日(土)

はげまし合って皆でゴールをめざそう!

剛健旅行は地元の警察・役所・消防署・病院などの協力によって実施できています。婦恋村の方々、応援してくださる後援会のお父さん、お母さんへの感謝の言葉と気持ちを忘れないください。

雨具や着替え・防寒具の用意を忘れずに!!

●今年も婦恋高原キャベツの販売をします。販売予定日:7月15日(火)〈申し込み締め切り:7月9日(水)〉

2014 東海カルチャーセミナー

❖日時:9月6日(土) 13:00~15:40 (12:30受付開始)

❖場所:本校アリーナ

第1部:本校吹奏楽部によるコンサート 指揮:畠田 貴生

第2部:講演会 講師:石井 直明 先生(東海大学医学部 教授)

テーマ:「健康長寿は普段の生活の中から実現できる」

行事予定

July 7月

- 1日(火) 朝礼[夏期正制服着用] 45分短縮授業
- 3日(木) 剛健旅行準備(1時限)
- 5日(土) 高校1、2年平常授業
中等部水泳実習1回目(湘南キャンパス)
湘南キャンパス等学科推薦候補者説明会(特別奨励・特別技能・特別学力・付属推薦)
- 6日(日) 高輪キャンパス学科推薦候補者説明会(特別奨励・特別技能・特別学力・付属推薦)
高校受験生・保護者学校説明見学会(1回目)
- 9日(水) 金曜日の授業
- 10日(木) 剛健旅行開会式(7時限)
- 11日(金)・12日(土) 第46回剛健旅行(群馬県吾妻郡婦恋村
東海大学婦恋高原研修センター周辺)
- 14日(月) 剛健旅行閉会式[1時限目](45分短縮授業)
- 15日(火) 校医相談日
- 19日(土) 1・2限:授業 3・4限:夏期休暇前諸注意・大掃除
- 20日(日) 中等部受験生・保護者学校説明見学会(2回目) 英語検定二次試験
- 21日(月) 海の日
- 22日(火) SSH科学体験学習旅行(~24日)
- 31日(木) 学園オリンピック文化部門[国語・数学・英語・造形・理科・知財・ディベート](~8/5)

August 8月

- 6日(水) 学園オリンピックスポーツ部門(湘南キャンパス ~8日)
- 20日(水) SSH課題実験夏季集中授業(~23日)
- 25日(月) 高校海外英語体験プログラム(~29日)
- 26日(火) 中等部2年英語体験研修(東海大学婦恋高原研修センター ~28日)
- 30日(土) 高校受験生・保護者学校説明見学会(2回目)
- 31日(日) 中等部受験生・保護者学校説明見学会(3回目)

September 9月

- 1日(月) 避難訓練
朝礼[夏期正制服着用] 45分短縮授業
- 6日(土) 短縮授業
一斉公開授業
東海カルチャーセミナー(13:00~)
後援会委員総会(15:10~)
- 9日(火) 中学校巡回
生徒自宅学習日
- 11日(木) 生徒による授業評価アンケート(2回目)
- 15日(月) 敬老の日
- 16日(火) 前期期末試験
(中等部 ~18日, 高校 ~19日)
校医相談日⑤
- 19日(金) 中等部写生大会(雨天時午前中授業)
- 20日(土) 採点日 生徒自宅学習日
- 22日(月) 答案返却日
- 23日(火) 秋分の日
- 24日(水) 生徒自宅学習日
専門医によるカウンセリング③
- 25日(木) 生徒自宅学習日 成績不振者指導
- 27日(土) 短縮授業
保護者会②
(家庭通知表配布 14:30~16:30)
- 28日(日) 付属高校生のためのオープンキャンパス
(高2 湘南キャンパス)
- 29日(月) 授業日(中等部、高1、高3)
振替休日(高2)
- 30日(火) 授業日

編集後記

関東地方は、昨年より3日早い梅雨入りだ。湿気が多く、なんともうっとうしい季節である。エアコンが稼働しはじめ、蒸し暑さを解消してくれている。多くの電力を消費するエアコンは、東日本大震災が発生した夏には「計画停電」が実施され、影を潜めていた。国を挙げて節電に心がけていた3年前、電気が消された薄暗い駅や街に豊かな生活への感謝と疑問、反省を感じた。原発の稼働が大きな問題になる中で、改めて“節電”について考える必要があるのではないだろうか。(ほ)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ:<http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>